

平成30年度

第4回宝塚市景観審議会
デザイン協議部会議事録

日時 平成31年（2019年）1月24日（木）

午後2時00分から同3時30分まで

場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室4

宝塚市景観審議会
デザイン協議部会

平成30年度第4回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 平成31年（2019年）1月24日（木） 午後2時00分～同3時30分

(2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室 4

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員

徳尾野部会長、岩井委員、三谷委員、高松委員

・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）

濱田室長、谷口課長、志村係長、瀨崎職員、岡本職員

・事業者

議事① 設計者 大和ハウス工業株式会社

代理者 亀田建築設計事務所

(4) 議 事

議事① 帝國地所株式会社 中州2丁目プロジェクト

(5) 傍聴者

議事① なし

2. 会議の要旨

事務局： 景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開
となっています。本日の審議会（部会）は、委員4名の出席がありましたので、
宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長： 了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、三谷委
員と高松委員です。

☆☆☆★ 帝國地所株式会社 中州2丁目プロジェクト ★☆☆☆

会 長： 今回の計画で景観上特に配慮されたことについて説明してください。

設計者： ・ 建物計画は周辺の閑静な住宅地に合わせ、ボリュームは2階建てに抑え
ています。

- ・ 建物計画は、事業主の要望により各室を雁行させるデザインの当社の新商品を採用していただきました。
- ・ 現況敷地は植栽が多くありますので、そのイメージを崩さないよう外周には植栽を多く配置しています。
- ・ 敷地の周囲の3面が道路に接していますので、道路側にバルコニーを配置するよう計画し、建物は敷地を囲むよう配置し、中庭はベンチなどを設けて居住者用の共有の空間として計画しています。
- ・ 建物色彩は奇抜な色彩を避け、白、黒を基調とした4色を使用し、周辺環境と調和するよう計画しました。

会 長： 本日は植栽の専門家が欠席されています。事前に植栽計画についての意見を聴き、まとめたものをお渡しいたしますので、植栽計画の参考にさせていただきたいと思います。では、まず建物の色彩についてのご意見をお願いいたします。

委 員： 白すぎる色彩は避け、明度の高いものは明度を落とすよう指導しています。景観計画で定められた色彩の基準値内で計画されているものの、明度の高いウォームホワイトを使用され、且つ、全体的に彩度が低く、色味がなく、白過ぎる印象を受けます。白と黒のコントラストがきつすぎますので、周辺環境には馴染まないように感じます。白は、ウォームホワイトよりもロフティホワイトを採用された方が色味があり白さが抑えられるので、周辺環境に馴染むと思います。計画されている色彩は、コントラストが強くシャープな印象ですが、少し色味の入ったロフティホワイトと組み合わせることで、落ち着きのある優しいコントラストになると思いますので検討してください。

設計者： ファミリー層向けの長屋ですので、黄色系の白で少し温かみのある色彩としてウォームホワイトを選びましたが、黒色とのコントラストについては考慮していなかったため、ロフティホワイトに変更することを検討します。

会 長： 計画の色彩は、事業主の要望により採用されたものですか。

設計者： カタログに掲載している事例をもとに、その中から1色使用したいとの要望があり、設計者としてウォームホワイトを選定し、計画しました。

会 長： では、事業主と協議の上、ロフティホワイトへの変更について検討をお願いします。

次は外構計画についてのご意見を申し上げます。

委員： 敷地周囲の三方が道路に接している敷地において、コの字型に建物を配置しているのは、街並みに配慮した計画となっており、素晴らしいと思います。しかし、景観を検討する際には、建物の立面だけでなく、道路からの見え方がとても重要です。街を歩いている時に歩行者がまず目に付くのは外構の塀ですので、景観について検討する際には、建物の立面図だけでなく、塀等の外構計画もしっかりと図面に表現した上で検討する必要があります。今後、景観について検討する際には、十分注意してください。

今回の計画では、道路に面する部分に植栽帯を設け、道路境界から控えた位置に塀を設置し、道路に面して空地を設ける計画としている点は良いと思います。また、ブロック塀ではなく、ブロック上部にフェンスを設置されていますので、圧迫感が少し抑えられているのも良いと思います。しかし、ブロックの上部に設置するフェンスの形状と、枕木を使用する塀のデザインが異なっていますので、違和感があり景観上綺麗に見えません。ブロック上部に使用する材料も枕木形状で頭繋ぎのないデザインとし、統一した外構計画にすることを検討してください。

委員： 建物のコーナーに開閉できる窓を設置されていますが、柱を隠すために建具枠が太くなり、折角のコーナー窓のシャープなデザインが活かされずもったいなく思います。コーナー窓は、はめ殺しにされた方がデザイン上効果的ですので、検討された方が良いと思います。

委員： 建物を街路に面してコの字型に配置することで、中央に建物に囲まれた空間ができますので、この空間を工夫して利用すると、居住者にとって素晴らしい空間になります。駐車場は日中ずっと車が停まっていることは珍しく、通勤に利用される方などを考慮すると約半分程度は空いていることが多いように思います。駐車場、駐輪場の配置を工夫し、駐車場も含めてエントランスと同様にインターロッキングなどで仕上げると、広場として様々な用途に活用できると思います。

委員： 建物計画や植栽計画での景観への配慮が、駐車場や中庭の計画では感じられないのが残念です。この計画のデザインや、設計者の能力は、駐車場計画も含めて評価されます。駐車場の計画も建物や、外構の計画と同等のエネルギーを注いで設計していただくと、更に素晴らしい計画になると思いますので、是非再検討してください。

設計者： 事業主からは、最低 14 台以上駐車できるスペースを確保するよう要望があり、このような計画としています。

委員： 駐車場全体をアスファルト舗装にするのではなく、少し目地を設けるだけでも随分雰囲気が良くなると思います。駐車場配置や仕上げについて、より良い計画となるよう再検討願います。

設計者： 費用面を考慮して駐車場はアスファルト舗装としていますが、事業主と相談し再検討します。

会長： 駐車場をただの駐車場として整備するのではなく、広場として多用途に利用できるよう配置や舗装を工夫してください。

会長： 現況の外構は、道路境界沿いの生垣の下部に低い玉石積があります。これは、阪神間の高級住宅地で良く用いられていた外構の設えで、阪神間の一つのアイコンのようなものですので継承するため、この既存の玉石を再利用することを検討してください。今回の計画では、残念ながら既存の植栽を残すことは難しいとのことですので、道路境界に沿ってブロックを設置されるのではなく、特に南東、南西のメインの通りに面する部分は、既存の玉石を再利用することで、現在の美しい道路景観を継承できると思います。是非既存の玉石の再利用を検討してください。

設計者： 事業主は、道路に面する既存外構を残したいとのご意向でしたが、道路拡幅等のため残せない状況です。この場では回答できませんので、確認し検討します。

会長： この玉石は恐らく当時この敷地内で建築工事の際に掘り出された石を利用したものだと思います。武庫川の河川敷にも同じような石が多くありますので、そのような意味でも通り景観や周辺環境に馴染む外構ですので、是非検討してください。

委員： 駐輪場が 2 箇所に分かれ配置されており、そのうち 1 棟は敷地中央の住戸の玄関前に配置されています。配置を工夫し、1 箇所にまとめる方が良いと思います。

委員： 各戸の玄関付近に大きめの庇を設け、玄関横に駐輪できるスペースを設けると別棟の駐輪場が不要になり、全体的にすっきりしたスマートな印象になると思います。

委員： 駐輪場に自転車を停める場合には雑多に置きがちですが、自宅の玄関付近に停める場合には整頓して置くと思いますので、そういった意味でもすっきりすると思います。是非検討してください。

会長： 本日の意見を参考にいただき、景観に配慮した計画となるよう検討をお願いします。議事 1 については、これで協議を終了します。